## ■ 高浜村庄屋 上田家



### なぜ上田家はやきものを作り始めたのか

天草・高浜で初めて陶石が発見されたのは、古代・中世の頃です。 元々は砥石として全国的に流通していましたが、近世に入り、当 時高浜村で庄屋をしていた上田家の6代目「上田僖五右衛門」が、 裕福ではなかった高浜の人たちが生業としていた農業や漁業以外 で安定した収入が得られるようにと、宝暦12(1762)年に"高 浜焼"としてやきもの作りを始めました。

天草陶石で作る磁器は、採石した陶石を粉末にし、水を加えて 粘土状にした後、成形などの工程を経て焼き上げます。天草陶石 は単体で磁器を作ることができ、比較的作りやすかったことがや きもの作りを始めた理由の一つと考えられています。

## 江戸時代に外国とやきものの取引をしていた!

安永6 (1777) 年には、長崎の出島で、オランダ人を 相手に高浜焼の取引が始まりました。当時磁器生産の中 心だった佐賀の有田焼に次いで、高浜焼も幕府から外国 との取引が許されていたことから、高浜焼が高い技術を 持っていたということがうかがえます。

当時のやきものは、西洋人の好みに合わせ、大柄でた くさんの色を使って絵付されています。しかし、出島で の取引は経費がかかり利益が少なかったため、短期間で 終わってしまいました。

## 上田資料館

高浜焼の開始期から明治32(1899)年にいっ たん終了するまでの代表的な作品や資料が展示さ れています。

上田家がやきもの作りに奮闘していたようすや 当時の磁器の流行の移り変わり、やきもの作りに 携わっていた人たちの生活を知ることができます。

入館料 大人300円、中学生以下200円 小学生未満無料

間上田資料館☎42-1115 天草町高浜南 ※訪問する際は事前に電話してください。



1860年代に肥前平戸藩 (現在の長崎県佐世保市周辺) の こならって作られた作品。唐子(中国の子ども)が描 かれている 4.細工でミスをした職人が書いた謝罪文。「より 一層努力するので今後も働かせてほしい」と懇願している

0

加藤

罠 0)

吉 天

高浜

0)

田家

や長崎県

て伝

え

r

業

12

来

愛

県

瀬

戸

◀当時の作品

「色絵草花宝珠

文蓋付壺

化三氯化 加

佐さた、

力ざ

など 知

れ町

で修業 一磁祖

郷 天草 和

民吉ゆ

0)

文化課

## 主な内容

# 市政だより あまくさ 9<sup>2022</sup>月号

### 人のうごき 7月末日現在 7月中の異動

人 口 75,592人(87減) 出生 37人 35.676人(39減) 死亡 117人 39,916人(48減) 転入 114人 女 世帯数 36.406 (9減) 転出 121人

### 問い合わせ先

天草市役所 ☎23-1111 本庁 〒863-8631 天草市東浜町8番1号

支 所 牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111 栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111 五 和☎32-1111 · 天 草☎42-1111 河 浦☎76-1111

### 天草市公式SNS









※()内は前月比

YouTube Instagram

郵…郵送先 申…申し込み先 問…問い合わせ先 M···メールアドレス ※申請書などは甲に備え付け。

- 2 目次/市長コラム
- 3 民吉と天草のやきものの歩み
- 6 企業誘致により働く場を創出
- 8 認知症のことを考えてみませんか
- 11 天草文化財探訪/天草見どころ図鑑
- 12 いきいき健康
- 14 くらしの情報
- 30 元気☆あまくさっこ/〇〇な人み~つけた!
- 31 ハッピーバースデー
- 32 宝島のわだい
- 34 キラリ天草人
- 35 市民のひろば
- 38 お出かけ情報/9月の潮汐
- 39 休日在宅病(医)院/水道修繕当番店
- 40 支えて守ろう「こころ」と「いのち」

## 市長コラム



Mayor's Column

すごくうれしい出来事がありました。牛深高校の 郷土芸能部復活のニュースです。今年の春、3年生 の卒業により部員が0人になってしまい、牛深ハイ ヤの灯が消えるのではと心配されていたので、新聞 (7月30日)で「16人が入部」との記事を見た時、 思わず"よっしゃー!"とガッツポーズ。

私は、良いまちをつくるには「教育」が一番重要 だと思っており、それは歴史が証明しています。

郷土芸能部の復活は、"牛深ハイヤを残さなけれ ば"という先生方の強い想いで、その意味と意義を

しっかりと生徒一人ひとりに伝え、その心が生徒た ちの心に響き伝わり、それに応えてくれた魂の結晶 であると感じました。この出来事が、牛深地域だけ でなく、天草市民の皆さまにどれだけ元気を与えて

くれたことでしょう。 先生と生徒たちに「あ りがとう」の言葉を 贈るとともに、舞台 での笑顔を楽しみに しています。



市政だより 天草 No.329

∖磁祖加藤民吉生誕250年記念 /

天草ケーブルテレビの番組「Do!?☆あまくさ☆」 で当日のようすを後日放送予定です。

9/10±·11®



協力しています。



せともの祭は江戸時代に磁器の製法を九州で学び、瀬戸に伝えた「磁 祖|加藤民吉翁の遺徳をたたえる産業祭として昭和7年に初めて開催 されました。瀬戸川沿いに約150軒もの"せともの店"が並ぶ「せと もの大廉売市」は、全国でも最大級。例年、全国からたくさんの人出 でにぎわいます。今年は民吉生誕250年を記念して、本市のPRブース を出展します。

# おすすめスポット 一民吉・瀬戸焼を知る-

民吉が天草をはじめ、九州で修業したことでつながった関係を今も見ることができます。



せとそめつけ

瀬戸焼の伝統技法「瀬戸染付焼」を

技術を保存・継承するための研修

テーマにした施設。名品や資料の展

示、染付体験コーナーもあります。

昭和34年、瀬戸市から東向 寺開山300年記念として「民 吉翁之碑」が贈られ、返礼とし て旧本渡市が寄贈した「天草 陶石」でできた碑が境内に置 かれています。



九州修業で天草を

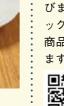
訪れました

磁祖 加藤 民吉 像

民吉がまつられている神社。せともの 祭の際には、ここで神事が行われます。

染付体験

頼戸焼の総合博物館として 昭和の街並みをめぐりなが ら、瀬戸焼の歴史と文化を学 ックプラザでは、窯元直売の 商品を購入することができ ます。 瀬戸市蔵所町1-1













## 現存する窯を見てみよう!

天草町高浜南にある窯跡は、元治元(1864) 年に造られたといわれ、県指定史跡になって います。

高浜焼最終期の連房式登窯で、薪をくべる 燃焼室を含めた全7室で構成され、うち4室

が残存している県内最大規模のものです。

すぐ近くを流れる川は、やきものに必要な 水を確保したり、船での運搬に使われたりし ていたと考えられています。

床にある凸部分は、やきものの釉薬が溶けて床にく っついてしまわないように、この上にやきものを置い 焼成室の中に入ってみると て焼いていた跡です。

> 壁は「トンバイ」という耐火レンガのようなものを 積み上げて作ってあり、それらがドロドロに溶けた跡 からは、かなりの高温で焼き上げていたということが 分かります。





▲やきものを置いていた跡

## ■東向寺

窯体の内部

東向寺の境内には、磁器でできた記念碑が2基 建っています。

一つは現在も交流が続いている瀬戸市から昭和 34年に贈られた「民吉翁之碑」で、天中和尚と 民吉の遺徳をたたえたものです。もう一つは平成 12年に建立されたもので、市内在住の上中万五 郎さんが描き、瀬戸市の"6代目加藤民吉"が焼 いて完成させました。こちらには民吉が天草など での修業後、帰郷し瀬戸焼を再び隆盛させたこと が記されています。



▲天中民吉邂逅の図(左)と民吉翁之碑(右)

所も兼ねています。